

令和8年度 富岡東地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

担当エリアである富岡第二地区および金沢シーサイドタウン地区は、ともに高齢化率の上昇が続いており、今後さらに高齢化が加速する見通しです。介護予防の推進は継続して不可欠である一方、起伏のある地形や住宅環境の制約、あるいは疾患などにより移動が困難となり、社会的に孤立するリスクを高める要因が存在します。
このような状況に対応するため、潜在的な地域支援の担い手を掘り起こしつつ、住民が気軽に集える「見守り機能」を兼ね備えた居場所づくりを推進していく必要があります。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	地区内の誰もが気軽に集えるコミュニティ拠点の創出に向けて、住民が主体となって継続運営できる体制を構築すべく、候補地の調査および関係各所との交渉・調整を進めていく。
☐	☒	認知症の方や家族から話を聞く機会を設けるなど「認知症を前提とする社会」についての普及啓発を行い、認知症は「誰にも関わること。誰もが関わること」ということを意識して、日常の中でできることを一緒に考える機会を設ける。
☐	☒	毎月の会議等で地域課題について情報交換を行い、地域ケア会議の議題として適切なケースを検討する。
☐	☒	施設利用団体にとどまらず、多様な来館者や地域の諸会議の出席者と積極的にコミュニケーションを図り、潜在的な地域ニーズの把握に努める。また、新たに導入される貸館予約システムに関して、地域住民に混乱が生じないよう、丁寧な案内や操作支援などのサポート体制を構築する。
☐	☒	基幹相談支援センターや後見の支援室等との連携事業を通じて、高齢化していく障害者の権利擁護につなげていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

☐ 区からのコメント